

伯耆町などでつくる「恋人の聖地／大山・榎水高原」実行委員会が、旧溝口町（現伯耆町）出身の作家、故大江賢次氏（1905〜87年）の代表作「絶唱」の紙芝居DVDを製作し、小説を親しみのある漫画で再現した。榎水高原でDVDを無料配布するなど、すばらしいロケーション、伯耆町の魅力を全国にアピールし、関係者は「観光振興につなげたい」としている。

悲恋小説「絶唱」DVDに

漫画紙芝居7分収録

元委
地実行

「絶唱」は、戦前戦後 山番の娘小雪と大地 枚。学習用として、町内の小中学校に配った。恋を描いた作品。ドラマ、映画にもなっている。

絶唱



今回のDVDは、紙芝居15枚で、順吉と小雪の出会いのほかに、順吉の出兵で2人が離ればなれになるシーン、葬式と婚礼を同時に挙げるラストシーンなどを描写している。収録は7分間となっている。

絶唱ファンが榎水高原を訪れるなど、DVD

恋人の聖地 榎水高原(伯耆)PR

DVD「絶唱」のラストシーン

（「恋人の聖地／大山・榎水高原」

実行委員会提供）

観光事業会社「エムケイ開発」（伯耆町）が製作を指揮し、漫画制作会社「ラ・コミック」がキャラクターデザインを担当した。

DVD製作は500

Dの評判は上々。エムケイ開発の広谷大樹総務部長(35)は、「主人公が互いを大切に思い合う気持ちは、『恋人の聖地』にふさわしい。2人のキャラクターが榎水高原の顔になってくれたら、うれしい」と話した。

榎水高原には絶唱の一節が刻まれた石碑がある。2010年6月には、静岡市のNPO法人が榎水高原の展望台からの絶景を評価し、「恋人の聖地」に選定した。